國。茶。貨。之。見

論

說

挽救 絲茶業管

未蒙

馬

世受

孫質 恩摺 琦

民布時罷內初聖奏 事竊臣於宣統三年十四中謝 天恩恭摺仰祈 條實行 與 肺病兩脅時常作痛近因勞

以支持摄怨

四二時房街路北

紳悉心布置保衛治安該 才智短淺何堪疆寄 之下感愧莫名當即 七月間兩次具硫陳請 贖前忿等因欽 命允方擬勉竭駑駘希 國恩疊層 殊遇 開 遵 著留 自 自 跪 官 必於平時使其習 多係官長下 善近以蜀路風潮激烈各 好之兵卒爲之操縱似較 人主張急進辦法現殆有 母高者始收之以官長下 有集合力之機

士而兵卒

知况其中又

在必行即無外欵接濟鄂

次據居君所

五萬亦足

籌集巨欺以助

致飘

多死同志之中以欲躬行荆

地同

管之

騎虎欲罷不得

何竭細亦

必擔

有不從者不

能持以堅定徒事張皇上煩 以効 鉞 聖 愧 詎 力 者亦有之 在居君之 人去歲 預備

其將來臣具有天良能

以斧

部自 月十四日前函書好未發適鄂 胡君漢民中山即孫君逸仙 人來故特補叙又及 按兩函中所述人名展堂 (今年三月

本極股繁週來時間

我樹你不要胡鬧、 御史的小姐、 連作二层、 有我 差不多就要放開聲哭起來了、登時眼眶一紅、眼淚就像抛珠 **兼之他們官家的小姐**、大約長的總 們那樣的門第、 老謝的女兒、 要娶了他的女兒、 一看兒子那種神情。 去 能够養的 現在鬧出這個些笑話來啦、 權且比姓謝的就要强些囉? 要說到才學的話、我怕比 老謝是我們家裡的一個 隨即就拿話來勸周謙、說、 也不能要他啦? 沒有身分嗎、 怎麽這樣的執拗。 紅、眼淚就像抛珠一樣 把他娶來家、作一個 仅有身分嗎、早先我倒 人不要笑話 正在託人來提媒、 那有多們体面呢、 還要强的多、 好好的在家裡看 心裡又覺的 現在陳 他的 你就 周謙

老婆、 現在還不能 個怕老婆的頭勢了 我自然有我的辦法、一理說、你說的這些話、一 就是一生的晦氣、像我常言道、為人娶不着一 脾氣又是挺大的、 生的大事、孩 不是娶回來就當 道侍奉公婆、 豊不是一生的 周謙說、 像我們家 可不能也 將來就 晦氣 太太的 麼也 都要

兒無過可改、孩兒自問你下次可知道改過呢、並無絲毫邪僻的行為、 在辦不到、 他是怎麼樣的好法、你謝家裡去了、老謝州個 3 薄 像那些個渾蛋的事情。孩兒寶過可改、孩兒自問是讀書明理 50 從今 的、周謙聽說不准他娶曼姑、麼樣的好法、你想娶他、那 (3) 周松垣說、 以後 13 0 花 你可不能再往老 周飜說、茲 (十五) 女兒 0 孩兒實 聽便 就要舖張、娶甸长門結婚、不明白、况且同他們結婚、那里 不明白、至 那個時候、 裡的閨女 他預備幾個了環小侍 棄之我們

趁此機會猛勇精進較之徒

題尤易解决茲約計各

倍且於

萬左右即足爲

動熊克武君己馳赴該

處為

他可就要發驕啦、

到了

倘若有事不

另外還要給

上

同他嘔氣是可就晚了

服飾用度、全、是

怎麼受的了

他們那一舖

蜀亦同時響應以牽

舉而定

也急

動今已得有多數勢亦

勿幕君在

至於調度家務

那是一點兒

吃喝玩兒樂。

娶回家來

-

養的嬌慣、

二則不

物也 前後黨事最有關緊之人



報及緬甸光華報主筆)皆居君獎石(前新加坡中興 一役被逮於武昌) 居正即 皆 去說啦 嗎 是名聲好聽。 你老暫等 常言道。 一等吧、

說際、 咳 史那一門的親事、孩兒是不樂意的 天我就託人。 我就下聘禮位、周謙說、 、那是一個外表、要住家 你老可把這件事見差了。 原是圖他的聲名好哩、周 那是 還是不及實在的好 一個外表 周松垣說、這不結 去問陳御史說、 目下可不要託人 這不結了 他們家 名聲

之兵力敵長江下游亦馳傲 路以北伐勢極 兩粤而不注 足優為前吾 帶吾人不 於

利便以言地利亦以可定沿京漢鐵路以

が説

令為

經武即胡君瑛 (萍椰

自立者亦有道以處之 橋本橋奉頭山田衛衛安天 州

羅男士

岛超叶 大京京水子

全年銀七角

銷假謹附

陳請伏

訓示謹奏

年十二月廿日人祭禮拜日之翌

面日一

號番館即

論革

易飛入後來輸運充

代拆代行一俟病體就沒有臣署日行公事循例中

由潘

司

一俟病體就

室 即 行

藥小憂缺乏武力自足與北

居君藥石

漢陽之兵器鯘既歸我有則

四日 改主 双扇子四字 開日

〇往北

〇往南方

大奉及

東 東水子 東

馬門

區由書

大石牌頭

通天衛

今 能

の記述の開

瓜五安 圆龍東 城背縣 日祖即

李德本语不安認明

11 mo 六五四 日間書

看他兒子走了

只好跑回書齋來了、

要在這裡多說了、我有我們兒主張。周松垣把兩眼一腳

孩兒不能

你直去你的。

周謙一看他老

裡等思尋思、 心理老疑惑他兒子與心子走了,個人坐在那

無等語山東巡 撫 孫 寶琦著准 十月二十七日奉 其開缺

開下神授欽此

肾內閣請簡山東巡撫胡建旭 著補授山東巡撫 3

> **台內閣請簡署山東提法會工期等** 藩署署理山東提

(1)

十月二十七日

双見內閱總理大臣

交

旨

宫

門

抄

南河峽 汝道馬馬南河峽 汝道馬馬 法使飲此

府知府員缺緊要著該無於通省知門內閣請補河南首府遺缺河南開封 補授欽此蓋用 府內揀員調補所潰員缺著只耀卿 臣袁世凱署名 御寳內閣總理大

京 專 電

●募集愛國公債三千萬 北

清楚無論親貴王公大臣以及大 行息一一直自借數四年後起分年給還於十 愛國公債現己宣佈招募其總額二一千萬元每年 者須罰以减俸 有應學之義務按薪俸額抽撥偷有官吏不肯盡此義務 小官吏均 心年後一律

和議難成之又一 說

某滿人大吏亦日此次媾和之結果恐不過 為袁 當藉口說服革軍出京與唐紹怡密謀大事 云 成立之望唐紹怡亦恐不再回京 唐二人藉口保全大局逐行廢立 北京內閣之某員昨語人日此次南北鄉 和恐無 袁總理 皇帝云

景

時

使署之自爲警護・

革黑潜入北京者頃又增多何時起事則未易經 悉**駐京欽使**等於二十三 日會議以後將限定 一定地域

便籌商多次日昨乃謁見袁總理通告日本遵照保全 既京伊集院欽使借同松井 参事官與此京英

七

鳴

盛

福後里康平在設開

籍

黑

1000

百

T

手

不准華人 八通行

常感激即快諾之 和事宜當盡力照料以期和平解決聞意總理異中國領土之方針對于此次官革兩軍之媾

英國當軸媾和意見

認為德國接助官軍

英國當軸對于此次媾和之意見聞國體以君主 爭二分中國 **亚憲為是唯不欲爲君 主共和兩方面之論**

據漢口消息目下各省接

革軍預備收復漢陽及●

南軍之回歸者不下二世

馬廣西援軍六千<u>工</u>西

武昌聯

煙●共 臺共• 共和•

進會現狀之披雕

世續嘆滿人之鮮有忠君者

極形忙碌

徐紹慎所率北伐除係抗

州廣東福建及江

三萬縣取道安徽侵泗廣東福 建及江蘇

在籌劃嗣後方針或謂 此次事變 實係王司令前與急進會聯府照常辦公急進會餘無十六人移住愛國旅館正報社長出而調停幸得無事現在王司令仍 回 軍政軍隊遂佔據之該軍隊奪回王司令而去嗣經芝罘日

(二十九日下午接到)

徐紹楨北伐計劃

各軍所編成其 數不下

援軍四千依次入城武昌革軍 已達 五 萬之多倘

和識不成一學收 復漢陽及 漢口現在戰備

題抱不

數十人邀戰數刻寫了

一敵衆會員數人

因之陣亡

人圍攻該急進會本部(即商業中學堂)急進會員

平二十七日下 午三鐘時遽派軍 隊數百

軍政府之組織軍政府吏員及軍隊因之

急進 會員等推戴 王軍政府司令接實

榮祿那桐等類的 日夜慨嘆滿人無忠君罗山之誠云 接濟位局之用並力勸滿人親貴大員協助捐款惟 世續因國事日瀕阽危懷捐私財四十萬兩以充 之不顧世費因之痛憤異常

(二十九日上午接到)

●公選大統領之暫緩

二十六日南京大會議次議公選大統領暫緩 學行須俟孫中山抵滬以後現下則暫以大元帥黃 與代理大統領事務預先組織臨時入閣間孫 中山己於二十七日乘外輪的晚拿號由香港放洋北上

● 往 述 北 京 議 和 事 使

定擬在此次會議 公學大統領以 便開設臨時政府唯因現在 海迎接北京識和專使刻下十四省代表計 議員雷奮代表江蘇亦参列該會云 領從緩舉行以免煩累聞此次會議需 和議漸將有成大局不久可望解決故暫將公學大統 三十四人齊抵南京在 江甯諮議局 開會盖因武昌會議之次 張別電云程湯陳二都督於二十七日下午前赴上 一星期資政院

五鎭大舉北上 充任北伐除總司令官即擬招集各省軍隊約四 (二十九日上午接到)

上海 專

●駐滬德總領之聲辯●

桂天 暗中接濟官軍之事固係箇人資格 並 與 德 政前特向黎元洪移文聲辯問即令一三德商有 肚滬德國總領事 關於德人近時援助官軍之說 日 府之主意無沙云云惟革軍則却以德領此辯 會人

@俄相聲明對于中國乱事之態度

京

俄英法三國對于此次 據 柏靈電云 俄 域 外 相 想他國之應付中國態度亦當將前三國相同云云 薩索諾夫君頃在法京巴黎聲稱 中國變乱

日本當軸調停亂事之意見

沙云云 議早 日成 立藉以救戰 飢之 慘禍其宗旨實在 官革內方面均已有媾和 制之如日本對于中國政體如何改定並不 自充和平之梯子耳外間傳說日本决意庇護 算重人 道主義並不含有政治上之意味蓋即不外 國政體如何中國 中國之君主立憲實係無稽之談毫無確據中 政府所以欲調停官革兩 軍之戰事者試因 日本菜當軸關于關停中國動亂事宜昨語人日五國 小之意乃遂居中斡旋俾和 八自能決定外人斷無權强 絕對的

新簡駐紮北京一等書 記官水 響水野君已赴北京新任去矣 野幸吉君 於二十九 日由東京

世界が一旦のは、一旦のは、一旦のでは、一旦のでは、一旦のでは、一旦のでは、一旦のでは、一旦のでは、一旦のでは、一旦のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、

此次兩軍媾和機會居中竭力斡旋昨己由兩國政府 機情通告官革兩軍 日英兩國決意調停 政府並開由 駐滬兩國領事專 官革兩軍戰事幾回乘

> 政權當將此議作罷已通電各 省矣

私通 官軍外門路傳官軍不久進埠勵討革黨人心因之

十十八日晚接到)

頗形惶恐

要

絕途施此狡猾手段又 聞急進會員頃已疑 視王 司令

絡擬實行急進主義比至頃日處然中 變意欲與該會相

資政院談話紀·

今使 電阻蘇滬 。

抵制德貨

罷・班告外債之作

本館近聞謠傳有害本報名譽又因各本館近聞謠傳有害本報名譽又因各

仙天人

夫責革不費 話告知本館定將

每張二

說某水

氣途中 一經而日常 3 處女初次行經能治各累病

帶赤帶

非中將湯不治

驗、狠 爾 相由 不 知道

振順福天永義子學與以玉豐豐地

吉線

保養 要曉 自 康、 不幸、 村湯 垣機 定謂

烈異

选 先生所 著世上有妻妾子因 先生所 著世上有妻妾子因 大連 不取分文奉送

心怜齊白中中悯醫帶將 兒 了諸 演

妙

這

■婦人衛生書

孕婦服中將湯能養血保胎 去子核脂各病 生子 宫 病

湯能

四一二四 六禮禮禮 份拜拜拜 大洋四角五江大洋二元五五 分分角角

湯可免小產

藥 箇

月經愆期非中將湯不効

妄行

服中將湯立愈

治月經各病

子

日 美國 狠 効 這服々的出 鬱來想 服 有 個 用的 婦 要 看 花 是 真 例 例 們 戲 不 身 萬 不 身 數

黄

醫學

博

阳

叫

醫學

尚

米米米票桌

七吊三元五二元元元

鹹豆豆洋小

一五二十六次 吊吊吊二吊吊 三三七吊五

元九元百三八八四四日八八八一

七二一二元

修修 中國 位置

上海到

大連開

高頭

上海開

錦 身織 能瘦的 儞們時 腹的

·京東本日 町花浪 連大 賣本日

不論其主張如何日必

凡有持破壞主義者

將此項合同取。門另行設法辦理

一日於如再不定識即

又謂對於現在大局惟以國家寫前提

字而現在勾堆意存指該刻擬限於

項階級合同雖已

簽

革黨在南方組織民主國

而北方仍為君主國

對不云

革 偷 剛量 (乙)奉戴漢人 謂若不得己則奏論退位

(KA)

報

八說

蒙接見談及議和一年袁謂 一 既出與調停亦一最好之機會又謂此 二十三日資政院議員康 歌等八人往謁袁總理當 在上海黎元洪亦主張將和議團 次和議原議在漢口嗣因各省代表多 不用兵主義此次英使 三共和政體說 印)統 為随當或指表 總理或指 兩派 先聖後裔各說不同 以漢人代之然以何人

亦有

級聯邦而彷北美 中國全土以施行共和制 說 日統 promotion (3)

其語己衛金權義和大臣轉赴上 抱和平宗 旨故允

往上海

朝廷本

海會議後又談及借款一郡袁謂上

各報各法團憲三文世凱送向西 商貨新外債尚完成議忽 澤所借川粤鉅債繼續 四國銀行國運動請將盛 の京準士氏公電 至於南北之界城則諸說不一

革革電視探資

國探擇何種之政體爲最

逍山其有三說摘錄如左

人守法益表方愛鉅四國受

二君主立 憲政 體

蒙

治新 谓等素不

說

以共和制度不可行义謂

助袁以甚鉅之

之。中。 一之。一种。 一种。 一种。 一种。 一种。 一种。

用政體

兵扼守通路即過危險原可活 檢閱 泰 處 有 为外 **支 廿 言**所誘忽戀常能首欲 公使為袁向銀行說項謂 古人 若 力與其殺我漢人且聞有□國駐京 泰島有的外 必至 财 挽 能移我就彼清廷如實歷 公婉言 調解 所能 苦滿虐普天同憤 起義五旬而全國響應人心如此二丁 兩電均悉維持人局 甚似苦心 其 會議地點己確定在滬不 公督師即當奮然改圖直搗幽 燕表大業職依違不决 在日 夕公為漢族且聞魯已舉 回現滿清時時衛 事機明達如公甚所不取

海人吾漢民與其坐受陷是何如 選 續交 欽無異世心開 首成中一九萬袁協助濟以鉅從容避 地放此智 言己難承認况為 欽供其殺我漢族乎故**见國艺** 彼四國不聽甘自破壞中立我四 先發制人務乞盡力阻止如 人之科害特的電景乞告大衆京社 周周人宜以最後

藏匿之炸彈尚多大 民公叩二十二 袁內閣所居之錫拉胡 警護版密情形の 漢兵各鎮夾雜重編旗兵無 事不准入口此刻所慮與 八一方面之危險則已過去以禁衛軍 一口 兩口旣有 巡警又有衛隊防範 安不止袁一人己也惟外 非常 嚴密 無論何 機關砲隊悉調去前敵所有旗兵又與 明其所在地故民政部頗法 八心亦因是而 要寒及鎮軍三步一標砲一營女子國定條紹慎價價低蘇軍浙軍海軍議軍事統一當用投票選舉武多數選 始尚張不迅掃 虜巢 恐蹈 洪秀全荷安東南 之復職同人等本日時期大 民軍駐衛練軍全體賛成又揚州分 北伐聯軍總司令以 **體解內立 期進**了又議公推 曾决定北伐問題全

金蜀秦晋革軍北上方略 總可令指導惟徐紹貞尚賺 質山亦願隷屬聯軍受 電促就職以維不局仍附電復聯軍團 讓不追機請公河承認 體暨蘇軍都督府丼來賓學公叩印

山陝四北上灣平岩 故得知其確學一大一意謂大 政府刻由滬電學轉達武戶途通陝川 軍政府鑒得接粤滬上宣告獨立建設 | | 政府並知照各軍政府 致進行矣茲將原函錄下 軍政府力表置成用将陝川 昨由秦軍政府函致晋軍政府商工門 秦晋民軍連行一氣學 晋

叩哿

の度の

輪船被拘

始·末·

言己難承認况為 北之師已編成不日證 寬待此時間何庸公院人 **夏**自北京光復如彼**投降**再歲 不休乞即將此意電達四廷為盼 即停戰宣布中外立派袁 **青大局十去**几 潭和商題緣釁而起火

總司令官之連總司令官之連 督各報館均察滿清,未倒北上海黄大元帥武馬黎副元帥各省郡 不開政治未能統一了 北上早開正式演會共定維鮮 决現縣各省聯軍 共和兩大問 新方針本軍政府接 電後業與

北京電政府漢順 昌原軍器由府谷渡河 切之至 謀劉君專函奉達務望速賜回音以便 省聯絡一氣共表同情 月軍 田變江東下聯合 **鸭**復川省軍政府不勝盼禱惡 武

送陸都督縣黎都 督號聚電均 奉悉武昌黎都督各省都督縣河州江口探 解我範圍非以 兵力 顺卓是袁意不可測彼即 学性軍績殺千 接鄂高北伐水 後盾不足以達完全之目的一面 停戰條飲改正版處極 **並進** 國不可緩進 如何規定黎都督既 行 爲

得利行敵省後軍第一協公學節制援軍亟宜發表意見俾各軍 接軍千人咸 日已 龍 山後,時時軍政陸榮廷王芝祥 俄 軍 以 充 鐵 路 租 界 之 守 備

哈爾濱電。俄國政

開平額務公司廣平輪船於

日前下午由吳淞開 往天津曾 為

群延時日各國商務大受影響外交界 府餉匱兵單**不推自倒**第恐 泛数難資 憲 會 於星期四日歐溫吳池和關 李船搜 查戰時禁品發出 石 医尾軍砲艇 學號 令 品故山前下午已由民軍准合 並未載有戰時禁 上該船即遵命停駛旋有人自砲艇 央領事 服 會 E 軍聲明該

參●三● 威●多● \equiv 已逃至海 要

車逃脫於 屬等因蒙古業已獨 立日前由 俄 抵海参威 狮事大臣二多及其原 參威電云駐祭庫倫 が一方ののでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方ので

電火計加添 駐東 息俄國政府現己與中國政府哈爾賓電云旗確實消

隊e組e 預● 巡會

民運河留二十 を 答ののののの 一般

國

始形態多恐栗此擾亂治安 限凡各區所有於 看四行撤多地方官代 記大過二次羅五次 資 資 案 三 次 者 里 等 長 迎護一点嚴於不宜云 在平日即 **搶**案 疊 出 值 此 時 局 匪出沒之 月內疊經

由之諭頒發後各界初初

型一律 剪除無型人

城關即閉大小西門幷無論通行劵有諮稍有疑竇即帶局訊問至十一鐘時 之苦心並非九鐘即行盛詰各區亦未

舖

美綜計現在全路///用工 行舗墊堅架刻包路工頭正忙碌從學 里許云 在 新總 鄉 孫 觀察必差 誠恐年春夏之交被水冲刷大年徒耗鉅象 吳家海與地方距土日嶺二 備巡查放近日比前大覺安靜至軍 道派遣陸軍五十名沿 **主三長鐵路** 乙成乙士經令 前進二里現時每日配增進 料之火車型開至 路彈壓每晚路工宿舍科按名上薄以 月初公司業移講西南路 至夜間有行幼等事不 東不易時赴附近村屯需索物品 1 安山系土門嶺一帶又共有 参吉長路考工記 不易該火車頭當秋季時一時日能 十餘里惟地東甚堅整修 作成之工再蹈覆轍的時 土工一千餘名此量的 人除驛馬河橋工百餘名外餘由馬

吉林 電云吉 各界人

□專運天下名廠員貨▼

(甲)保維本朝之說

以依然保維現在朝廷最為穩安

第一不復為中國之屬地然而 若主

此固掩飾之言今言 京津

譯變恐事擾及外人

不得此無數所部諸軍

立憲說又分二派

廢君主則該地方自 然 分

屬中國之事主教者

屬中國之國家實

金銀鐘表金剛石及各色寶石 心行用具裝身用具屋裡●

天電

法長

不國政

日下午六温紫

為保衛治安科見頃已組

内容 起均由參議長轉呈會長執行 會後開議多次競失講案十餘 保安公會參議部自組 辦法並參議部是否有監督之 間參試員大開會議 於十一月初一 項屯墾經費係四國借款人民保安無庸調查各審查員以此 **猎**負責任末便視爲不急當即 公請參議長宣君到 限想至時官紳必有 案督憲答復謂係問接因上議決調查屯墾局 鐘召集全 場表决定 並請正關 一番言

の輸送が過程 不得集會結社 八員

長官特別命令不得加入已於 職員尤當勤於職守以保治安 **毋論问種集會結社非有上級** 多故之秋凡警務範圍內大小 日前札飾總局及各屬轉飾 入員一概不許加入沉當國家

急迎知商家兌換

章十條一併附錄現在動美道 少則亦領一千兩並將所撥簡 己移行商務總會通

審查會訂定辦

會人員每遇議事多託故不到 保安會參議部 公時刻 審查會長以在

+

師一體知順矣

4-0 百 五

督憲以各項集會結社凡發察 區遵照矣

銀元辦法

奉天造幣分廠日昨咨請勸業

鑓到會下午五鐘散會己通各間凡在會人員每日由上午九或參差小齊現己訂定辦事時 審查員一體遵照云

客店賬房厨房專用鐵器像伙各色油漆

鈴機器材料等件五金雜貨一概俱全不觀主顧

各種工廠用機器各匠 像使農具度量

发量等器保險銀櫃

京

局

滋食輔腎丸

樓帶本塞損 南之境 對妙元不多

個洋部計議

二髓不延

元孫能版

大營長

地方

北叉西風概時

建口套日

精種痛長子服

料電燈電

象保安會副長 由袁君代理 E

麋伯君日前外出紳民多有不 佈答復調吳副會長係田諮議 保安會副會長諮議局議長吳 **袁君金鎧暫爲代理希即周** 局公學公出赴京會議要致其 知者是以參議部議員王君日 上出質問現在已經會中宣 職已由參議部總長

急進會長並未

保安一 革命思想月前回奉經保 ≥法政校畢業考試完於之說殊屬訛誤云 粉起多謂於君業已去奉昨 公推爲參議部副長以期協助 保衛公安各項政策可知以 主席宣佈如 參議部開審育會長君竟到 何維持大局如 來路言 安會 會 H

憲札派 謂試卷校閱需時又須咨部核 定方能頒發文憑仰即先行回 **缶政學堂甲乙兩班學生經督** 脅自十五 提法提學兩司會同監 考試完竣傳知各學員 日起分班考試現已 年 應 各軍

籍侯明春 集全体 城廂董事 係新任奉天府辦 不恰與情义無鄉鎮巡警及預 會於作二十 再領文憑云 理事宜殊多 九日召

警均應武謀 决外間無從探悉耳

心恐受

緊急非 日銀價大落現銀一 元 僅 見繭索云 二十元

訪 手 冬已 械 因 知 據情禀報總局核 爲害殊匪淺鮮 己丢馬鎗 日前該局警官查驗槍械始局領到馬槍若干隻發放應 巡十數名 時局緊迫 **叫西邊門外巡警** 吃緊之時設此 以資鎮攝寫由軍 桿遍找無踪現 分局前 當此

帶地 營 (%) 家地購買馬匹當經禀准督 隊需馬甚縣特派員往洮南 **粉處現员軍事喫緊省城招 谷行北地稅捐局凡** 馬免徴稅數 軍用云 此項軍馬 憲昌添 經由圖巡防

營 四 在 肅軍紀云 搖滋事故日昨 務處張總辦以現因各 私自外出在娼쫉戲 各娼窰嚴密訪 時嚴禁外並 除飭 曲 查 以期整 各營管 藉端 員

論滿漢 補兵額先行由各旗屬挑選鎮陸軍已將屆退伍之期其 諮府日前電容東督訊駐 力精壯者以資預備嗣後無 •

容後已追咨吉汇兩撫融化滿漢而符憲法聞 口

報本學 當即發給各 借得毛瑟槍若干枝子彈 後當逐日 埠两團成立各節已迭紀本 茲悉該團今日向軍 團發館• 槍・枝・ 團勇每名 加枝嗣 稱是 界

保衛云 保衛云 所開。

警 • 取足額 務效練所新 H 日來已經

阿吉牛堡子富戶劉千

明捐該當戶托

集富戶衛

慕西

少又雜銀

現洋不能 現銀一兩只換銀 收 以致商業皆 買是以近 質

爲灾禾稼歉! **籌議轉理云** 神梅選擇殷富

本埠自修理馬路後道雕本埠自修理馬路後道雕 車三四五套不等若不糧物 以免軋壞迭紀本報 商家

惠窮黎 本埠資善 安鍋煮粥放施矣 610 · 野察關心民瘼母 一般貧苦小民名 一般貧苦小民名 十己定が 心民瘼催放甚追引人民多賴為圖言 起現 荒存粥

姓鬍匪 送分區並即是夜追擊逃匪 分 **光**磐行路人李姓一 面呈報縣署驗屍云 名意欲搶却 奉化縣來者六 區巡警趕半將高姓鬍匪 一名其同夥佟姓開 路汽鬍 路者拿獲高 名適南路 態三

三年素敦睦宜此次交卸故該 日本居留民會因徐大 民會長權太 民與徐令面訂 行以誌不忘云 居留民餞徐令 令 乙[•] 在 行[•]

黑籍中人 新舊交代 新舊交代 新 近交無歸然替暇併 餘二隊即

總董品控 同奉

學為議員曾經列始開選時被沒鄉十二 北鄉高納郭 出益富縣議事 列榜示衆 八戶投 謂 票 公會 意

富甄別剔除另 魯鈍難期造就者均 惟聞該生中 行招補云 不 間 有姿

為灾不稼歉収飢民 遍野雖經請款放 處尊吳馬司以本屬各界內今年雨水 正埠放水

殊車有其

例在氰之以

遺 爲警務長業已接件視處總董朱去福升經各 席未

學変札云 黃管帶去遼· 接竟於 翻車 會 一十七日奉到州一多議員柳君子 昨已 事界

即 年 匪 現 在 地 面 己 稱 妥 證 故 宣 帶 黃 菜 復 日 前 奉 派 來 遼 剿 駐 本 第 二 混 成 協 步 三 標 二 營 於二十六日 帶餘 而歸矣 逃竄無踪現在 的 起辦

屬現因盜賊蜂起常

足 因徐大全

等司馬會同紳富韓君錫 A 邀 等司馬會同紳富韓君錫 A 邀 落前經商務會 執洋數千元稍 力繳納以致警餉學欵
外个夏田地被水淹 會議警學 學經費向以地 欺· 項· 無從看無從有無

擊傷

長十雲章 単誤將鈴 均無詞 領事 前經時軍 明督無史州牧異常驚慌恐 前經歸軍劇捕互相開槍之勝東門外為匪黨窩藏之處 峯指 日本兵隊出城演操 向史州牧嚴行交涉問 木中尉擊傷當 交涉 EMS The 放 中局

妨害治安委派陳單二管帶率駐鳳馬統領日前因警耗四起 兵動捕該匪等因衆寡不敵 巡防除凱旋 各軍隊已 遂

團網 京辦理學務必多電磁特札飭 專請提學曹司使滿示辦法曹 真請提學曹司使請示辦法曹 抗解租散 言各 路勸學員遇自此 之徒務即嚴加 **小能再立學田佃戶均擬**

問多方開導云 三年日中午六句鐘起上課一 三年日日下午六句鐘起上課一 三年日日下午六句鐘起上課一 一日開辦の 學不淺將 网小文 學時班 @ 印商俄拿人該因 民勞者不今日 己交卸回省該富畑隊戶又

而発風潮云

縣

經保安 驗左近 究未能達到保安之目的茲密於經費著手非易敷衍因 匹連搶三家受傷皆巨次早 社費著手非易敷衍用 及分會發傷籌辦鄉問 人分會後但 籌 → 冬以 多 。 X 阗 馬在屯 1

生即防

祝·歐返鳳云

將東五問折倒祝融怒時該中燒燬幸經消防险

融怒毀始

〇古

林〇

意邱某選入後

人稀復又轉招邱協問

以時他省人民之族B 植同· 意·

◎黑龍

工之慘

前义由奉派到中路巡防步四营抵鳳駐紮又經統領將中路安以資彈壓噬面於二十五日由隊官秦用明督帶到境腐八中路分派來 別义由奉派到中路巡防步叫的兵鎮懾窃恐鞭長莫及故日鱼軍名稱擾乱地面雖鳳城有 郷各區添設預警教練所一 際保安會議設預警教練所 一

◎長

藏 練• 在 所•

大派二在观览四

馬統領朝以安東地南 時營學生旋鳳

無防兵不備改特派 暗營學 一一名 人。 人 多 東 地 處 邊 哩 以資防 一四一四 學事隅生又資 守 警畢業生爲教練曾當經大眾以期明白警務練習槍操派巡 員

限。自。治 舉● 楽●

郷至年 原定 早籌辦處于 後停辦 項襲窘國 行相小學写考畢試畢 行未悉能邀允権否 一年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 心能邀允准否 業茲聞 内 K ممسحوي 學 各. 各 項學餘月新員該間 所 開 政以

十本

間其東予問當空間無人均後潮溝東崖有劉某所

學各學堂學生十年多有更易至今確本那四鄉初等小學堂共計四十二處本那四鄉初等小學堂共計四十二處 有四年成蹟之學堂僅二十四處各處

衛生家一日不可缺之品 龍姣嫩儿膚永有香氣質

東三省專售所

小島洋行

VEVER'S SOA

埠

能小銀

四三五吊馬六二六

一十十二日

十月十九個

月廿九

月十九口

價以鈔票又

小元高

八五一 日 日 元 三 六 三 六

十事十九天

月廿九口

完 十大

八番

牌香腴子遠近馳名洗濯最宜

強用普

興利華製炭公司自造地球

T

故此次特行放大篇幅改良報料以符 本報自出刊以來於今數年順蒙各界所歡迎銷路亦極暢旺 鑑京時報館告白

廣

告

内設 坑在 有日

*新式房屋空間

此体生

間房路北

(日電話)三六番)

國歷啓

在哈爾賓分

發

頭彩六萬圓

總數三萬枚

图

及各埠 本館現在力加整頓改良一切所有篇幅報料均求整齊省城 話君見本報加張致懷疑意是以特爲聲明以祈雅鑒 賈鸞輻放大報稿亦宜加多是爲至要此佈 諸訪員諸君應体此意此後訪稿務須新穎更宜確

代賣所

機総位開數置

七容華

百

二號本號主人

啓

不瘕赤榮因順皿

大神止痞白衛瘀則為全效脾塊帶不結血主

事務所

中之紀品雙樹艷幟

庫

懷德東路

擾害地面 極種劣跡何堪枚舉預備警 職被控革差 現今又充警官聚賭招匪 請警務端能媚上壓下前充當牌因索

七點而位之秘方而在

諸賢請立刻購

服以試其靈驗

絶眞為天下

兵一節先前俱是資成地面衆戶自己

着人當兵聚則為兵鎮壓地面散則為

民亦可保護已家近來梁均忽改方針

限情願合議包賠今限期已滿並無信世裕李元旭分其包賠而該保討十天 興森累無了期該保奸謀得逞何 堂訊再設謀惟委若不查封嚴辦 息聞優其利 此登報俾衆週知等限滿

門茶壷套

●仁丹者各地到處

藥房雜貨舖均行代售

院茶壶宋二演拾玉鐲該妓無論何等日昨平康四街桂紅堂妓女桂紅與本 出色入均不代茶 局可冤也茶壺

M

九重黑香鬼

有器的

遼陽福興森

將保人押追包賠在案傳該號衆東李承保刁抗經商會查明詳廳該保刁攪

賠櫃茶壺套 遼陽李棨啓

京

可見梁均違背警章破壞公法欲施强

蠻手段陷害鄉民本社預警之殃將來

不堪設想矣一字不誤

壞德縣喜受益啓

程概無警官自行招兵等例以此觀之

迫合衆戶照地捐納一向考查預警章

盛

輩對待鄉民虎假虎成至于兵餉

一層

自行招顧私人充當警兵皆係無賴之

-

各色印墨

不平人具

白糖 管口水冒宫 東謙昌內 管口水冒宫 東謙昌內 電話七八年 春長北門裡分

纱票匯兌北京上海天津本店開設在大南門裡專

日本電話四. 一連三櫃門

大連大山通本行 光明洋行 新天大南門裡

賣辦 分局 本局 安陽長奉張營大 山 台 東城春天子口連

本店創設奉天四平街南胡同內歷有遠年因庚子兵燹之後移至中 面俱係三間督造滿漢文武朝戰軍學各界操統時式花素名 大成永輝啓

爲快茲因避亂來奉暫卜 噪芳名走馬章合者爭 紅有閨閣風無烟花氣洵明品格莊重且嫻文字尤 十五姿態清嬌二校書 艶媚玉 班金 一津 覩 樓女

倉倉先門甚讀

冊註部政民案立准批橐驗

記支號京都前門外打磨廠中間金漆牌匾寫記開設奉天大南門裡路東門面四間金漆牌匾寫出由外省寄錢買藥本堂自備郵費由外省寄錢買藥本堂自備郵費

各元蜜捷斯洋朝美不 美 蜂利建 人日

龍琶利鶴駝鐘和島

價 低 盤

社會式株草煙亞東

各地藥場吸良新藥婦 電話一百七十二號 藤 田誠昌大藥房 遵發代售

○歐**亞各種良藥**及醫療機器一切對實

電話百六十八號長 春 新 市 街

藤田誠昌大藥房

八建 据 10,11 1 mo 1 mo 1 mo 1 mo 1 mo

ر رف

月日

園

小第花來一花

使 子成家 信善

丁沈第小

德飄一月

林香怪英

演合班

【園】

內樓

小小力 吉吉人

禁力

樓棚思

益 花料

內院等

-

彭珊植

仙翠月

張郭和 樂翠秀

紅英集化

蟠捉了

桃放

6090403

日二二香

温罗斯鄉鄉

全

本

局無論爲誰余當武力相見次 之資格也並云余以國家爲前 提如有甘 功臣之後大官·

車●局。口

禮

拜

稍容辭氣之間頗爲强勁

護俄 () 達大臣電 () 保 **欵**•度• 之•支•

京

時

害致釀

交涉云云

部分·

盛

·蒙古之電報仍

貢●圖●年●

京內日前謠傳蒙古至京之電 倫亂事已經被人拆斷 於 德國武官在

來函照登。

立之種種關係并某國對於改面調錫清弼都統陳述庫倫獨

機田庫

等僧昨

經那部及各要津之

在京庫倫商人昨方結合團體

獨立

庫倫蒙商反對

如●勝●達●得●京●賭●鴻●准●如●車。及● 阁•漢•巳•漢•躊•押•鴻•必•· ·以·□·之·通·乃·車·行·欲·開 廣●北●今●係●電●人●車●車●軍●國● 上●擬●商●段●郵●且●祗●事●璋● 之·南。民·馮·部·貨·耿·上·首· 親・愛・園・県・

曲。

易·若·票 己·行·各

花四· 医班花四音

息

佛次。銷●車●毀●日●旋・冬籌致●而●林●之●前●即●令 知其根底始發給證據赴買通票之人必須預取舖

已●陳。中●令●

電在·曾·事·之·修·風·查 棚京·電·並·不·晖·勢·均

府前曾提議

允爲設法辦理矣

響京漢通車之曲 ・ 意 一 章 ● 二 ● 經 告 ・ 十 ・ 部 意。日·傳 心·形。獨°該·已 性·収·立·邸·紀庸·府·之·而·本 倫宣慰活佛 「たった」では、 「たった」では、 「たった」では、 「たった」では、 「たった」では、 「たった」では、 「なった」では、 「なった。 「なった。

買票以免有匪徒溷跡之弊 京 京 京 歌 不 願 赴 蒙 車保確

獨 立 削 **獗一節** 盛京時報館合鑒

其言

之知其

非

th

爼

館獨立之

楚貝子及

遷避之事

報民未該政提 築從 實詞呈己

●相穿破液及院中將翠紅室中所有無供後經永盛店掌櫃具保釋放云無供後經永盛店掌櫃具保釋放云無供後經永盛店掌櫃具保釋放云

至实奔而逃甲年老追之不及只摔遭 是之於某二等娼蜜內 融乙子一是 甲見之於某二等娼蜜內 融乙子一是 甲見之於某二等娼蜜內 融乙子一是 甲 ●嫖即近盜(營口) 煩乙子持現小洋千餘元赴西頭兌換東頭有某甲者與某乙交奠逆前日甲 行李衣服盡行窃去侯翠紅回屋見室 經該堂掌班向六 該堂掌班向六局禀報窃情形當由一空知被窃賊偷去途即大擊喊鬧 矣 野

工夫市

一件

恶徙北關一般治游者 者為其受天寒之影響耶然吾以 一般治游者 大寒之影響耶然吾以路途一般治游者似宜異常擁擠一般治游者似宜異常擁擠 拿。 一奉天

云

相

中所有鐘 自庚子 飢後 西路二 品雙 不知法律為何 規勸至 吞 胞兄 H 卒收悪果(東平

温暖 ---一差慙之態 方景

載均係失實理合函請刊 中亚無暗助官軍之員各報實調查我德常備隊及續備 機關砲多尊均係精銳之武 中亚無暗助官軍 貫報以資更正為盼要此祇 **鏖殺革軍云 〒 茲經** 山且謂官軍所 11 德國軍 登 所除確器帶令 肚頌 官 節省脂粉烂數角、不獨可畧悉節省脂粉烂數角、不獨可畧悉 應酬

而己、 知時事

而、果然舉止大方、 理屢向余言之、謂 要屢向余言之、謂 學承以爲不過因情 昨日晚經友人邀 昨日晚經友人邀

某時見

不勝駭怪敵廳雖素稱多五版下欄內有錦西廳鬍 月大更想紛無今備匪匪二主正係々匪他完自猖

新京府商人劉日發年逾五旬雄心未减月中在濟良所領得妓女順喜為妻在西關元享店內居住節該妓見劉某任西關元享店內居住節該妓見劉某其所贈赤金戒指二並股票洋五十元業所贈赤金戒指二並股票洋五十元以後被劉某找獲朝夕看守寸步不得到,其所贈赤金戒指二並股票洋五十元,以後被到某人對人。

一人在縣署堂前 贩兔適值 除大令在 一人在縣署堂前 贩兔適值 除大令在 一人在縣署堂前 贩兔適值 除大令在 一人在縣署堂前 贩兔適值 除大令在 ● 商人提倡剪髮(西豐)辦以俟訪明續誌 東關當豐昌商號日 **令其具呈喊控以備存** 雕情實難忍等語徐大令聞言 之下

互相討論定於冬月初四日一律髮之明文該號櫃伙皆欣然樂剪 初四日一律剪片 去是剪

●鶴立鷄羣(長春) 察覺該剪紹己杳如黄鶴 停駛不料 包裹置之車內行至東大橋米及事畢回屯買有羊皮襖 被剪絡粉皮襖 鶴 矣 包

首推九順 康里备妓有 之態度詢非下順及運學書於 順及運學書於 順及運學書於 下人館色 流其之人 娟應馬物 妓 酬 實 當



五四三八一六七二九初黄緑碧白白白亦黑紫一 西北方杜門 西北方杜門 東北方死門 西南方生門 方休門

小川情 P 疑途上 5 不街上天师 2 經該處崗警察見其人不類 b 是經該處崗警察見其人不類 b 是經該處崗警察見其人不類 b 是經該處崗警察見其人不類 b 正支吾間後有

云守來 在店門外進屋取物竟

不獨可畧悉

順手取東三省日報

一份

過到

東三省B限一份、 案頭維列之報紙甚

西門外廣裕街平康里頭等娼宠 西門外廣裕街平康里頭等娼宠 ●姊弟、城宪(鐵嶺) 套呼之意何其不知自愛耶 套呼之意何其不知自愛耶 宿亦必大茶壶先戰三合然後再令客為秘密近日二人熱度甚高雖有客住 愉 香 養 屬 為 管 屬 名 然

鬪者喧固若輩之吮利

2人

耶

城

等親各人

國門微怫然者揮之不去

即

卑毆彼等值車

車該脚力御

夫等爭

先撕勒

· 下者絡釋不絕而轎声各之可惡(遼陽)

|如寳多有|

利如血也

何相

如

堂遂卽面訊情由該姊弟聲稱籍层二人在縣署堂前喊寃適值除大允前二十四日午後四鐘餘有曾姪姊 ●報應不爽(海域) 不可活其 海邑西南三家子 之强梁也因上 年記 四草黨

不可活其此之謂於 名之朝鮮 名之朝鮮人在該處路七道溝東木廠後邊日 在遼城集入 出籠意必捅改前 有李義亭者 有李義亭者 五年霸其姪妻 一年霸其姪妻 一年霸其姪妻 一年霸其姪妻 一年新其姓妻 斃年有 · 英 道 而 一 不 識 在 自 可 場 物 野 野 野 野 野 野 野 野

現己報知警察署驗明故 歲衣服繼縷諒想係因 停駛不料被剪絡粉皮襖包竊去及至也裏置之車內行至東大橋因驗車牌水及事畢回屯買有羊皮襖一襲用布水及事畢回屯買有羊皮襖一襲用布 掩饑埋寒 死餘姓.

九宫飛星方 田区四

噼 色以故商界均注視緩以 薄齊 當將來必大有

又活(海城) 鑞 好 近

飛據此無程度之游民縱置諸共和四郊風鶴持功命稍懈初心以致好四郊風鶴持功命稍懈初心以致好四郊風鶴持功命稍懈初心以致好 叶 和 可國鳶賭因

一番整

田位命

都育

桑港

布哇

喀達

神戶

東京

長崎

大坂

倫動

里昂

支

店

香港

上海

漢口

微天孟僧律買

長光略春京噜

大連

安東

奉天城內四平街

營口

速陽

橫濱正金銀行奉天支店

話十二

が正常

「富宝」の大部のの同本

三路三〇八路玉〇同五

第 200 年 20

20 mg

層題

10 110 次 次 110 数 分 数 分

は、一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個人工を一個人工を

天鐘樓南路東

(電話十

F

南樓鼓

天泰

6

盘 日本東京市日本橋區駿河町壹番地 漢堡 細育 桑港

盂買

甲谷他

盛谷

二开物產株式會肚奉天出張所 臺北 廣東 清島 上海 漢曰 艺界 京城 七川新甲坡 瓜哇 蘭貢 馬尼喇 香港 厦門 臺南 天津 海参威 大連 牛莊 鐵嶺 長春 哈爾濱 **厦門** 臺南

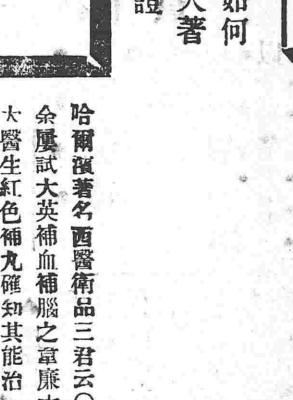
設在大西閣電話(音本(平三七)

就

牵

各種機器鎖礟軍械並經理保險代理船務等事認物豆子豆餅棉布洋棉木材撫順煤麵粉各種雜貨有分行可見本行交易之茂盛所有廠賣大宗之貨幣者本行開設歷有年已各國各埠通商口岸均設 **眞辦理購賣貨物格外公道如蒙官商賜顧者請到** 本行面議爲幸 本行主人謹白

> 治愈咳嗽吐 草廉士大醫生紅色補丸如何 名建築師及西 血之症有奉天著



胃假射影防謹丸真疾治係此

本邑境屬三條素爲盗賊爛数自陸軍左隊隊官齊君鵬大字作周旣辨長李左隊隊官齊君鵬大字作周旣辨長李 出力親率弁兵畫夜梭巡剿賊防盗不 R處不安齊君尤為異常 以本溪商民獲編基深近 以本溪商民獲編基深近 命最可住者

報分館廣告 千金寨盛京時

婦女已到十

六歳未見經水ツ

鐵道南大德棧院內千个購可也特此佈開 報諸君亦希直接向本分館訂理本分館概不承認至歡迎本 訂安代辦千金寨分館事擬於 欠人人欠均由趙銀福個 銀福對於外問各項事件無論 十月初四日接辦所有以前辦 本處現已與奉天盛京時報館 金寨盛

月

經

采

無雙

血薄氣衰諸

京時報分舘田世清啓 置

▲專理經水別滯至三四個月並治因由月經不調所發之子宮血風症則

良

婦科靈藥

及上火痛頭不思飲食輕憂悶多煩疾苦慘極亦速愈而能調和氣血功

· 長春頭道溝便是本局談 持告白再來買者格別

不宮症之劑也

大瓶一禮拜

小瓶三日半

洋

角分

▲在清幽各地市

難尽述也

每月信期不恆或崩漏不定之人自常服此下毒血五體自强况可免患

資本

金

四

千八百萬

公療金壹千七百拾正萬圓

票官粮甚署原取交之銀稅緊及電現通

店



樓廣 蓋胃爲載食之器 人職無效出金章首 職無效出金章首 整衛行式銀色 整衛行式師神修問 本工為專添標開

非獨進食維戴外之氣喘頑痰亦必乘間發生假道於胃虛精神萎頓形容枯稿關係生命之存亡甚爲危險當此 夏合欲防萬病發泄者必欲使胃礙健本藥房所售胃活藥專治男女氣血兩虧 世紀翹然獨步健胃之活質也 八身居廣厦富貴銀有者 滋養臟腑遇身血液之循環全係胃口消納養料灌輸於其問最為重要之部分若胃 定價大一元中五角小二角五分 服胃活奠不奏奇異之效健胃者務請試用方知此樂爲二十 東京山田安民藥房寄售各藥房 忡過度花怔 日不良可常 食物

總 經 售 舖 奉天建陽 大連浪花町 大日本大阪

誠

昌

平

商

會大藥

房

本

實

貨高價率

廉天

述獨印貨

详

本貨聲價已爲世界所嘉許

定價表可有

大阪市北區上福島 店

製

石橋間

管大石橋

部 今 00 mm 中 10 mm 平 10 mm = 1